

旧町名	設置場所	設置時期	町名等揮毫者
ふりがな	標示柱設置付近の様子	旧町名標示柱	
町名廃止期日			
旧町名の説明文			
蔵前			
くらまえ	城東5丁目5番2号地先	S63.2	安 有倫
S45.4			
この地は、藩政初期のころには舟渡があり、細谷通り町と称された。延宝二年(一六七四)藩の雑穀蔵が建てられ、元禄三年(一六九〇)に「裏新町」と名付けられたが、蔵前と俗称された。			
蔵脇	城東5丁目13番29号	H1.2	河野 虚堂
くらわき			
S45.4			
藩政時代は細谷村に属し、藩の雑穀貯蔵倉の脇にあたるので倉脇という字名であった。明治二十二年市制施行のときに水戸市に編入され、昭和八年に大字の廃止で町名となる。			
黒羽根町	宮町3丁目2番地先 (水戸協同病院駐車場)	S61.3	荘司 漱雲
くろばねちょう			
S41.3			
この地は、江戸・佐竹氏時代から居住者があり、寛永年代(一六二五年ごろ)に武家屋敷となつたと思われる。古くは黒羽町とも書かれた。			

旧町名	設置場所	設置時期	町名等揮毫者
ふりがな	標示柱設置付近の様子	旧町名標示柱	
町名廃止期日			
旧町名の説明文			
寿町			
ことぶきちょう	緑町1丁目2番1号（信願寺参道）	S63.2	片岡 脩翠
S43.4			
<p>藩政初期の正保年間（一六四四～一六四八）常葉村から町方に編入され、河和田村への通り筋のため河和田横町と称された。昭和九年の市内町名改称で、寿町に改めた。</p>			
材木町	本町3丁目19番17号地先	S63.2	深見 子浩
ざいもくちょう			
S55.1			
<p>藩政初期の寛永二年（一六二五）ころに開かれた町の一部で、寛文年間ころから材木商が多くなり、材木町と呼ばれるようになった。</p>			
幸町	梅香2丁目747番地の73	S62.1	阪場香津決
さいわいちょう			
S42.5			
<p>藩政初期、武家屋敷地と餌指屋敷があったので餌指町と称されたが、宝永三年（千七〇六）幸町と改称された。住居表示により梅香二丁目、南町三丁目、備前町の三町に分けられた。</p>			

旧町名	設置場所	設置時期	町名等揮毫者
ふりがな	標示柱設置付近の様子	旧町名標示柱	
町名廃止期日			
旧町名の説明文			
肴町			
さかなまち	本町2丁目6番19号地先 (角)	S62.1	吉澤 鐵石
S51.1			
<p>藩政初期の寛永二年(一六二五)ころに低湿地帯を埋め立てて開かれた町の一部で、藩内の各浜で捕れた魚の取引所とされ、魚問屋や魚商人が多く集まり、「さかなまち」と呼ばれた。</p>			
桜小路	栄町2丁目10番地先 (常磐大学高校裏歩道)	S62.1	菊池 遊魚
さくらのこうじ			
S43.4			<p>天保七年(一八三六)九代藩主徳川斉昭が、江戸住の家臣に国元帰住を命じて開いた新屋敷の一部である。各小路には樹木の名が付けられた。</p>
桜町	金町2丁目3番29号	S63.2	武藤 海雲
さくらまち			
S42.5			<p>藩政初期、寺院を数多く移建し、上寺町と称された。延宝年間には寺院を他へ移し、その跡を武家屋敷地とし、のちに桜町と改称した。桜の木が多かったからだといわれる。</p>

旧町名	設置場所	設置時期	町名等揮毫者
ふりがな	標示柱設置付近の様子	旧町名標示柱	
町名廃止期日			
旧町名の説明文			
三間町			
さんげんちょう	本町2丁目11番18号	S62.1	桐原 浩雲
S51.1			
<p>田中町(後の清水町)とともに、磯浜街道沿いに開かれた町で、藩政時代には三軒町と記された。明治時代に城東地区の三軒町(後の北三軒町)と区別するために三間町と記されている。</p>			
三光町	城東1丁目2番10号	H1.2	阪場香津決
さんこうちょう			
S45.4			
<p>三光町は、昭和九年の市内町名改称で、柵町の一部に新設された町。この町は、明治の末に明星ヶ池の脇の藪地を開拓して三戸の宅地ができたことに始まるという。</p>			
三ノ町	城東2丁目3番20号地先	S63.2	赤塚 東村
さんのちょう			
S55.1			
<p>藩政初期に武家屋敷地とされ、もとは外川崎と呼ばれた地域の一部である。元禄三年(一六九〇)に「三ノ町」と名付けられた。横山大観の出生地として有名である。</p>			

旧町名	設置場所	設置時期	町名等揮毫者
ふりがな	標示柱設置付近の様子	旧町名標示柱	
町名廃止期日			
旧町名の説明文			
塩町			
しおちょう	本町3丁目9番地先（吉久保酒造裏 角）	S62.1	楊 希風
S55.1			
<p>藩政初期の寛永二年（一六二五）ころに低湿地帯を埋め立てて開かれた町の一部で、塩問屋が集まっていたため、塩町と呼ばれた。</p>			
七軒町	本町1丁目2番14号地先（歩道）	H1.2	楊 希風
しちけんちょう			
S51.1			
<p>藩政初期の寛永二年（一六二五）ころに開かれた町の一部で、当時七軒の商家があったので七軒町と呼ばれた。制札場が置かれ、江戸街道の城下への出入口にあたった。</p>			
渋田	城東1丁目7番29号地先	H1.2	河野 虚堂
しぶた			
S45.4			
<p>この地は、かつて渋田沼があった南側にあたり、藩政時代は四、五軒の武家屋敷があった。明治十六年ごろに沼は埋められて町となり、細谷村に属した。明治二十二年市制施行のとき水戸市に編入された。</p>			

旧町名	設置場所	設置時期	町名等揮毫者
ふりがな	標示柱設置付近の様子	旧町名標示柱	
町名廃止期日			
旧町名の説明文			
清水町			
しみずちょう	本町2丁目12番12号地先（歩道植込み内）	S63.2	鬼澤 三鬼
S51.1			
<p>藩政初期に開けた町で、水田の中の町家で、古くは田中町と称された。寛政十一年（一七九九）に清水町と改称された。</p>			
十軒町	東台1丁目11番1号（十軒町児童公園内）	S61.3	山内 光雲
じゅっけんちょう			
S55.1			
十町目	東桜川4番49号	H1.2	飯野 白延
じゅっちょうめ			
S55.1			